

議会報告会報告書

開 催 日 時	平成 30 年 4 月 18 日（水）午後 7 時 00 分～8 時 40 分		
開 催 場 所	大石地区市民センター		
出 席 議 員	濱口高志、 橘 大介、 田中正浩、 楠谷さゆり、 西口真理、 植松泰之、 西村友志		
	司会進行者	西村友志	
	報 告 者	植松泰之	
	記 録 者	田中正浩	
参 加 人 数	23 名		
主な質疑応答 意見・要望等	別紙のとおり。		

松阪市議会議長 山本 芳敬 様

平成 30 年 4 月 26 日

議会報告会実施要綱第 8 条の規定により提出します。

議会報告会第 4 班

代表者 濱口 高志

【第一部の主な質疑応答・意見等】

問 カリヨンビルについて、もともとは、地元商店街から出た話と思うが、今回地元商店街は、負担をおうのか。

答 平成3年に公社ができた。平成5年に第三セクターを作り、市が公社に3億円を出すことを条件に、県・国が11億円の資金を貸し付けたのが問題。かなり乱暴な計画だったと思う。当初の返済計画は、年間7000万を考えていたようだ。また公社がお金を借りる時に担保がないまま個人保証で成り立っていた。

現在、公社が返済をすることが不可能であり現在5億6000万ぐらいの借金がある。とても返済できないので特別調停を申し立て、県と国に借金の免除をお願いした。県議会でも免除を可決した。公社にはまだ半分以上の借金を支払う必要があるのでカリヨンビルの売却代金すべてを返済に回し足りない分は、公社で支払ことになっている。

問 一番心配しているのは、地元が手を上げた事業で見通しが悪く、このようになった事業に市がお金を出すのは、どうかと思いますが。

答 市は一切お金を出していない。カリヨンビルを約1億6000万で購入しただけである。残った借金2億円あまりを公社と商工会議所・県で支払う。

問 市もたくさんの公共施設があるのにここでお金を使うのは、どうかと思うが。

答 現在、公社に松阪市が年間1,920万円払っているので賃貸料が不要になり9年で元がとれるのでメリットがある。また、歴史的にも価値があり、中心市街地の真ん中にあるので、意義は大きいと思う。

問 市民病院への一般会計からの繰り入れ金の推移は、どうなっているのか。

また市民病院がどのようになっているか、聞きたい。

答 市民病院への一般財源からの繰り出し金は、9億1000万。ここ数年は、黒字経営のためこの金額で推移しているが、これから病院経営は厳しくなるとのことで地域医療構想検討委員会などでは統合する案も出てきている。議会でも市民病院特別委員会を設置してあらゆる選択肢を検討しながら議論を進めていくことにしている。

問 市の財政ですが、平成30年度末で市債残高が521億円となっているが、30年度から財政調整基金を活用して、短期償還を行いと書いてある。31年度以降の借金を増やさないと書いてあるが、市債残高の見込みを聞きたい。

答 財政について、市債は増えている。鎌中や給食センター建設などに市債が使われているが、財政調整基金を活用し、平成26年度末の491億円は、超えない見込みの答弁を市長からこの議会でもらっている。

第2部用【地域防災について】

【主な質疑応答・意見等】

問 大石・茅広江市民センターが土砂災害エリアになっているのに消防団の詰め所が大石・茅広江市民センターになっていたり、避難所も土砂災害エリアになっているが、今後改善されるのか。

答 危険箇所に避難所があるのはおかしい話ですが、現実として、その地域で一番安全な地域を探すしかない。小中学校がある地域ならそちらに避難してもらうのが一番よい。また市民センターが危険箇所にあるのは、おかしいと思うので行政に連絡して本部対策室を別の箇所に設置する等何らかの策をとるように市部局に申し送りをする。

問 現在小学校の体育館が土砂災害エリアになっているが、そこに避難してくれとは、地域住民には、言えないが。

答 学校の校舎は、耐震になっており、ある程度は安心出来る建物だと思うので、学校に避難してください。

意見 市民センターが使用できない時などはどうするか、例えば災害対策本部を学校へ移すなど地域住民に周知しておくことなど防災計画の中でマニュアル化していく必要があると思う。

問 土砂災害マップを早く作成してほしい。また避難所マニュアルなど地域にミスマッチなどところがあるので検討してもらいたい。

答 これら資料の作成について地域の皆様と一緒に作成するように関連部局に連絡をする。地域のご意見を聞き急ぎ作成するようにする。

問 自治会で管理している消火栓のホースがかなり痛んできているので市で補助金が出るようにしてもらいたい。

答 私たちの勉強不足で申し訳ありませんでした。何らかの経緯があると思うので一度持ち帰り検討する。できるだけ自治会の負担が少なくなるように行政に話したい。

問 災害時の時に多気町の消防団や行政レベルでどのような連携を行っているのか。

答 広域消防の関係ですと当然連携はあるが、災害時の消防団、行政レベルでの連携は、あまり聞いたことがない。情報をお互いに共有することは、やっていると思うが、そのときの判断で活動していると思う。これからは、お互いに災害時に連携をどうする

かなどのシミュレーションなど必要だと思う。危機管理室へ意見として報告する。

意見 松阪市と近隣の市町村との情報を共有する防災計画を進めてもらいたい。

問 防災無線について、昨年増設していただいたが、まだまだ聞こえないところがある。個別受信機でカバーをしてもらえないか。

答 個別受信機での対応など津市でおこなっているが、なかなかハード面での対応が難しいと思う。携帯を持っている方には、エリアメールが流れてくるが、携帯のない世帯やエリアメールが入らない地区で固定電話を利用してエリアメールと同じ内容を連絡する方法を検討している。

意見 電話線が災害で切断している場合など固定電話での連絡ができないのではないかな。そのあたりも考えて計画してほしい。

【その他の意見、質問】

問 松阪市は、交通マナーが悪すぎる。早朝でも歩道があっても車道を歩く高齢などいますので、警察にもっと取り締まりを強化するように言ってほしい。

答 高齢者に反射板をつけてもらったたり、とまと一ずの啓発講習会などやっている。また、警察と連携しながらスピード違反などの取り締まりの強化などをお願いしていく。

問 市で太陽光のガイドラインを作成していただいたが、管理の問題で困っているところがある。それらのことをちゃんと市の関連部局でやっていただけるのか。

答 太陽光のガイドラインは、三重県で作成し、運用は、国・県で行っている。環境課が窓口になっているが、県へ連絡をさせてもらおう。